

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	都市計画道路3・3・2号新川南流山線立体交差事業			会計	款	項目	大専	小専	
				01	08	04	05	03	55
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路建設課					
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	主管課長	石井 菊次					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	市民や利用者の安全及び利便性の向上を図る。
事業内容	慢性的な交通渋滞が発生している主要地方道松戸野田線のバイパス道路として、千葉県が事業主体となり、用地取得及び工事を実施し、その事業促進のため、事業費の一部を市が負担するものである。延長 L=603m			
事業開始から現在までの状況変化	本路線は、主要地方道松戸野田線のバイパス道路として交通混雑の緩和及びつくばエクスプレス沿線整備地区である西平井・鱒ヶ崎地区のまちづくりを支援する幹線道路として整備が急がれている。 平成16年度に事業認可を受け、平成30年度を最終事業期間として事業を進めている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	整備率	76	78.60	82.60	%	↑↑↑	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成29年度は、県事業は、橋梁の下部工が完了し、上部工を施工した。市事業は、関連市道付替に伴う3名の地権者の用地取得及び1名の物件補償を行ったほか、県に負担金を支出した。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		36,831,122	78,269,967	51,379,948				
事業費(b)(円)		35,626,322	77,171,567	48,023,948				
うち一般財源		13,126,322	11,471,567	10,923,948				
職員給与費(c)(円)		1,204,800	1,098,400	3,356,000				
人役・職員(人)		0.16	0.16	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	事業進捗に合わせた適正な予算措置。	③取組の課題	工事実施中における、生活環境の維持と関係者への合意形成を図る。
②今年度(H29)に実施した取組	県事業は、橋梁の上部工を施行した。市事業は、平成29年度3名の地権者への用地取得及び1名の物件補償を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	事業の早期完成に向け、県との情報交換に努め、住民合意の取得を図る。